

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 2 1 号 2016 年 12 月 16 日

今年も残すところあとわずかとなりました。
今年のジョイコンは、1月の3周年記念特別演奏会（横山奈加子・和加子姉妹：ヴァイオリン）、3月（鈴木大介：ギター）、5月（中山正瑠ほか：木管五重奏）、7月（塚越慎子：マリンバ）、9月（大川信之：テノール）、11月（須藤千晴：ピアノ）の6公演とも、すべて満席でした。

さて来年も、6回の公演を予定しております。
“聴きに行ってみみたい身近なコンサート”を目指しつつ、内容もより一層充実させて参ります。引き続き「ジョイコン」を宜しくお願い申し上げます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第21号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
 - ◆第25回コンサート
- 【2】今後の予定（先取り情報）
 - ◆第26回コンサート
 - ◆第27回コンサート
- 【3】ハーピスト（ハーブ奏者）は白鳥みたい？
- 【4】コンサートのアンケートから

【1】次回コンサートのご案内

■■第25回コンサート■■

- ◇2017年1月15日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：景山梨乃（ハーブ）
- ◇プログラム（予定）
 - ◆ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女
 - ◆モーツァルト：ピアノソナタ K.333
 - ◆グランジャニー：子供の時間
 - ◆ヒンデミット：ハーブソナタ
 - ◆トウルニエ：イマージュ組曲 第4番
- ◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円
- ◇会場：大倉山記念館ホール

第25回ジョイフルコンサートは
『奥深きハーブの響き～心地よい音につつまれる冬の午後』
と題して、お届けします。

演奏者からメッセージが届いています

ハーブというと、煌びやかで美しい音を思い浮かべますが、
私が何より魅力に感じるのは、その奥深い音色です。
今回はそんな魅力を存分に味わって頂ける曲を集めてみました。
真冬の寒さを少しでも忘れられる一時を過ごして頂けるよう、
心を込めて演奏したいと思います。

今回のジョイフルコンサートはハーブの演奏です。
ハーブの音はとても優しく、優雅で心が癒されることは間違いありません。

☆ヒンデミット/ハープソナタ

○ヒンデミット

昔、ヒンデミットの「音楽家の基礎練習」という本を使っていました。リズム練習とかソルフェージュ等の内容でした。そのため私は、ヒンデミットは音楽理論が専門の音楽家なのかと思っていました。実際は作曲家でもあり、指揮者でもあり、また優れたヴィオラ奏者でした。しかもクラリネット、ピアノ、ヴァイオリンも弾きこなす多才な演奏家でもあったのです。正直とても驚いています。この本を引っ張り出してきて、見てみるととても懐かしく思いました。

ヒンデミットはドイツに生まれ、第1次世界大戦に従軍した後、ヴィオラ奏者として活躍し、その間も多くの曲を作ったそうです。しかし、彼の新作オペラ「画家マティス」がナチスの意に沿わなかったため、「退廃音楽」とみなされ、弾圧を受けることになってしまいます。母国を離れ、トルコの音楽教育に尽力した後、スイス、アメリカに亡命します。

その頃まで独奏楽器としてはあまり注目されていなかった、ヴィオラの独奏曲を多く残すとともに、オーケストラにあるほとんどの楽器の独奏曲を残したそうです。いろいろな楽器を多くの人に知ってもらうことにとっても大きな貢献をしたのではないのでしょうか？

前回のメールマガジンで同じ時期の音楽として、無調音楽、12音技法を調べましたが、ヒンデミットはこの音楽法に否定的だったそうです。ヒンデミットは複数の音が同時に鳴ると、その周波数の和の音と差の音がかすかに発生するという現象に着目したそうです。確かに何か聞こえる音はありますが、そこに周波数の規則性があるということは私には及びもつかないことです。そのためどの複数音にも必ず関係性があり、無調はあり得ないと主張したそうです。こんな理論もとても難しいです。

○ハープソナタ

ハープその物の音のせいか曲調のせいか、よくわかりませんが私個人の聴いたこの曲の印象は、雨がしとしと降るような静かな日に心穏やかに聴きたい曲だと思いました。

ドイツで音楽を学び、ドイツ音楽の伝統を引き継ぐ作曲家ではありましたが、この曲は中世やルネッサンスの時代を感じさせる曲想にあふれていて、ほかの作品とは全く違うのだそうです。他の曲も時間があったら聴いていただきたいです。

近現代の作曲家ですが、この曲はそれ以前の音楽の香りが強いのだとか。ドイツ時代とアメリカに渡ってからの作品はまるで響きが違い、状況に応じて作品を作り上げることができる作曲家と言えるそうです。いろいろな楽器を演奏し、その多種にわたる楽器のための独奏曲を作り、作風もいろいろ違っていてという臨機応変に対応できる才能の持ち主だと思いました。

皆様お馴染みのピアノ曲とハープの曲とヴァラエティに富んだプログラムです。どうぞお楽しみになさってください。(A.N)

■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■ 第26回コンサート ■■

◇ 2017年3月19日（日曜日）

◇ 出演：会田莉凡（ヴァイオリン）

★ルーマニア国際音楽コンクール、日本音楽コンクールにてそれぞれ第1位。
サイトウキネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団などに参加。小澤国際室内楽
アカデミー奥志賀にて小澤征爾氏の指揮のもとソリストやコンサートマスターを
務める。徳永二男氏に師事。

◆予約受付開始日：2017年1月16日（月曜日）

■■第27回コンサート■■

◇2017年5月21日（日曜日）

◇出演：醍醐園佳（ソプラノ）

【3】ハーピスト（ハープ奏者）は白鳥みたい？

私達がふだん「ハープ」と呼んでいるのは、正式には「グランド・ハープ」という名称です。形や色、楽器の装飾などはメーカーによって様々ありますが、重さは大体40kg、高さは180～185cm位あります。

弦は47本で、高い音になるほど弦は短く細くなっています。高音部はナイロン弦、中音部はガット弦（テニスのラケットに使われる羊の腸を乾燥させたもの）、低音部はスチール弦（金属でできている巻き弦）が使われています。弦の並びは、ピアノの白鍵と同じで、ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ド、レ、ミ・・・と連続して並び、6オクターブ半の音域を持ちます。音の目安として、ドの弦は赤色、ファの弦は青色になっています。

楽器の下部のペダルでシャープ、フラットをつけます。ペダルは7本で、それぞれのペダルが、ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シに対応しています。左足で3本、右足で4本のペダルを操作します。

ペダルは3段階切り替えになっていて、真ん中がナチュラル、上げるとフラットになり、下げるとシャープになります。

例えば、ドのペダルを操作すると全てのドの音が半音上がったり（シャープ）、半音下がったり（フラット）します。足の操作はとてもハードで、ロングドレスに隠れて見えませんが、とんでもない早さで足さばきをしているそうです。

それで、「ハープの足さばき」は「白鳥の水かき」の話（水面を優雅にすべるように美しく泳ぐ白鳥が実は水面下では一生懸命に水をかき続けている）と似ていると言われています。

手の動きの優雅さとは全く違う足さばきの慌ただしさですが、そのおかげでハープの美しく優雅な音色があるのです。

ハープの原型は「豎琴」で非常に歴史の古い楽器ですが、オーケストラの常連メンバーになったのは19世紀後半です。曲の中で、夢や幻想を描く時に使われます。弦の上を指ですべらせて弾く「グリッサンド」奏法やアルペジオはハープでしか出せない独特の音色です。

ハープが活躍する管弦楽曲を紹介します。

- * ベルリオーズ『幻想交響曲』より第2楽章「舞踏会」
（幻想交響曲はオーケストラで初めてハープが使われた曲です。）
- * スメタナ『わが祖国』より第1曲「高い城（ヴィシエフラド）」、
第2曲「ヴルタヴァ（モルダウ）」
- * ドビュッシー『小組曲』より第1曲「小舟にて」、『牧神の午後への前奏曲』
- * マスカーニ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より「間奏曲」
- * リムスキー＝コルサコフ『シェヘラザード』
- * ビゼー『カルメン第1組曲』より「間奏曲」
- * チャイコフスキー『白鳥の湖』より「オデットと王子のアダージョ」、
『くるみ割り人形』より「花のワルツ」「パ・ド・ドウ」

どの曲も皆様が一度は耳にされたことがある曲だと思います。（のん）

【４】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（１１月２０日公演）：須藤千晴（ピアノ）
『名曲と迷宮の旅へ～親しみのある曲から かくれた名曲まで 迷宮の旅へ
出かけましょう！』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」６１％、「良かった」２３％、「普通」
２％で、残りは「無回答」の１４％でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『ベルクのピアノソナタを初めて聴きました。今日の選曲はとてもおもしろく、
すばらしい演奏、よい音楽を楽しませていただきました』、『初めて作曲されまし
た椿（カメリア）に感動しました。女の強さやさしさが表れ、さわやかな曲でも
ありました』、『衣装、選曲、演奏まで、センスの良さを感じました。ベルクが聴け
て良かったです』など。
また、『毎回楽しみにして居ます。今後もジャンルを越えて開催下さい』、『水曜の夜、
コンサートによく伺ったので、なつかしく心あたたまるコンサートでした。
また伺える折を楽しみにしています』とのご感想も寄せられました。

「ジョイコン」は、今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めて
まいります。

【編集後記】

先月２１日、闘病中であったジョイコン実行委員のNさんが亡くなった。
ジョイコンの設立準備段階から、共に活動してきた仲間であり、地元大倉山で
活躍されてきた経験を生かして重要な役割を担って頂いていた。闘病中もコン
サートに何度も来てアドバイスを頂いていただけに残念でならない。

８月に亡くなられたTさん、この度のNさん、お二人の遺志をしっかりと受け継いで、
ジョイコンをさらに盛り立てていくことを改めて誓いたい。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：０８０－８４２４－５１０８

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

.....
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
.....